

1. 本県周辺海域の概況(図1, 7/4現在)

- ・黒潮の流型は蛇行型のC型で推移しており、本流は犬吠埼の東55マイルを東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39度、東経146度付近にあり、親潮の面積は平年よりかなり小さめとなっています。また、東北海域の海面水温は「平年より高め」で推移しています(気象庁6/30発表)。

2. 海洋観測結果(6/27～28, 6/30～7/1:調査船「いばらき丸」)

- ・平面図を図2～4に、鉛直図を図5に示しました(水温, 前月差, 平年差)。
- ・前月に比べ、会瀬～鹿島定線の全域で昇温しました。一方、犬吠埼沖では黒潮の流れが変わり、降温しています。
- ・平年と比べると、0～200m深の概ね全域で「平年並み～やや高め」となっており、会瀬～大洗沖では「高め」となった点もみられました。
- ・沿岸域では込潮～真潮傾向、会瀬～大洗沖では真潮が強くなっていました。

3. 今後1か月の見通し

- ・親潮本流の勢力は弱く、東北海域の海面水温は「高め」で推移するでしょう。
- ・黒潮は流路を変動し、蛇行型のC型からB型へ移行する見込みです。茨城県沖には、黒潮本流および沖からの暖水の影響が残るでしょう。
- ・1か月後の本県沖の水温は、全域で昇温し、引き続き「平年並み～やや高め」のまま推移する見通しです。

※8月の30年(1981-2010)平均海面水温(東経142度まで)

会瀬:21～24℃台 大洗:21～24℃台 鹿島22～25℃台 犬吠埼:23～27℃台

※詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

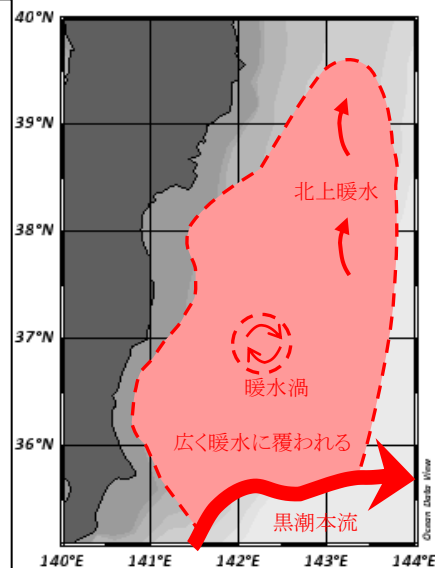
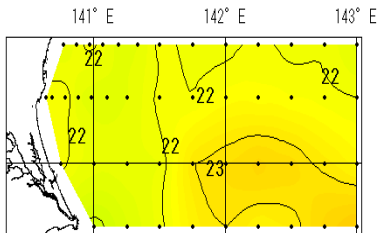
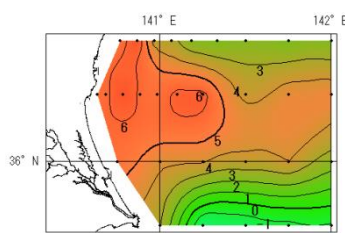


図1. 海況の概要
(7月2日)

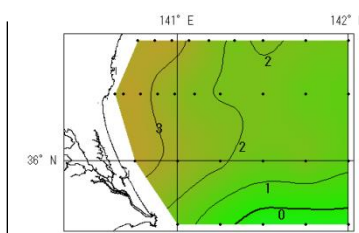
(回遊性資源部 鈴木 裕也)



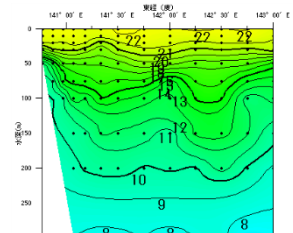
水深0m



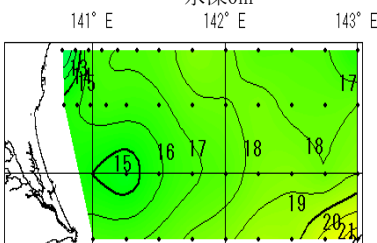
水深0m



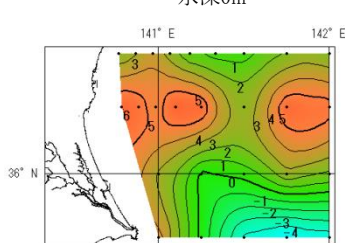
水深0m



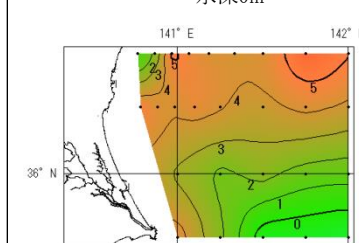
会瀬



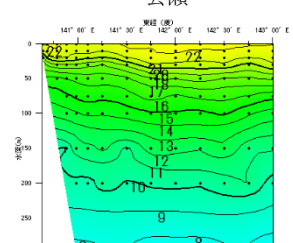
50m



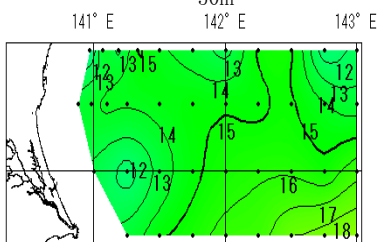
50m



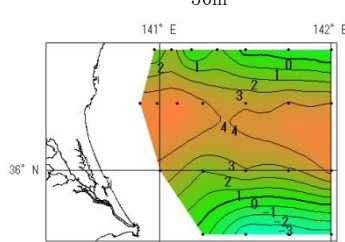
50m



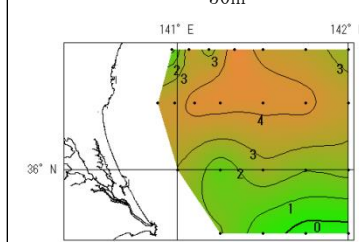
大洗



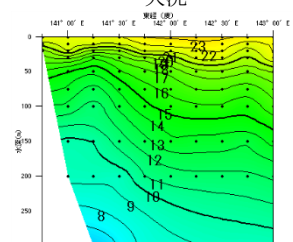
100m



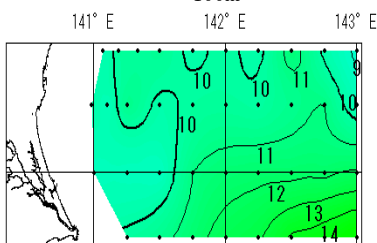
100m



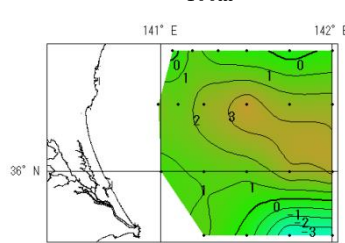
100m



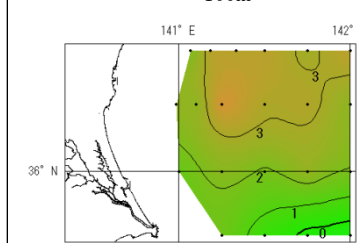
鹿島



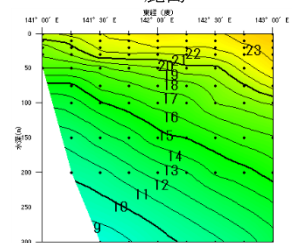
200m



200m



200m



犬吠埼

図2. 層別水温

図3. 水温前月差

図4. 水温平年差

図5. 定線別鉛直水温